

The296th Programming Deliberation Committee

第296回番組審議会 議事録

開催日 2026年3月24日(火)

出席者：山田吉彦委員長、角田陽一郎委員、長崎巨宏委員、安藤美冬委員、望月理恵委員

議題（審議番組）：『UMP～未確認人物倶楽部～』

放送日時：2026年2月5日、2月12日 22:30-23:00

DJ：明石ガクト、福田淳

## 会社からの説明

カルチャー×映像のストーリーテラー「明石ガクト」と、世界のエンタメ最前線を知るプロ「福田淳」のふたりがお届けする予測不能なプログラム。次に世間で話題になるであろう未確認人物の知られざる才能やカルチャーを発掘する、サークル型ラジオです。

今回はゲストありの回となしの回のご審議いただきました。

## 委員からの意見・感想

### 【審議委員 A】

本当に楽しくて、思わず他の回も聞いてしまった。

体験価値の話に加えて、「アルゴリズムから解き放たれる」という視点がすごく印象に残った。

雑談のような構成も、深夜ラジオのように気付きを拾っていく感覚があって、とても心地よかった。

### 【審議委員 B】

ビジネスやエンタメの世界で有名なお二人なので、期待して聞き始めたが、実際とても面白かった。

中でも、「体験価値」の話が特に印象に残った。

デジタルや AI が広がる中で、人が集まる場や体温を感じる体験の価値が上がっているという点に強く共感した。

### 【審議委員 C】

話が面白い一方で、何の話をしているのか分かりにくくなる場面があったと感じた。

雑談としての魅力はあるので、もう少し整理し、どちらかが進行役を担うことで、より多くの人に伝わりやすくなると思う。

また、視覚的な情報への導線があると、リスナーとのつながりも強くなると感じた。

【審議委員 D】

ラジオ、映像、イベントなど複数の形で展開されている中で、どこが起点なのかが少し分かりにくい。  
また、今後どのようにテーマやゲストを広げていくのかという点や、  
二人のパーソナルな部分が、がまだ見えてこないところも気になった。

今後、個人的な話やストーリーが増えていくと、よりファンがついていくのではないかな。

【審議委員 E】

全体としてとても満足度が高く、30分という長さの中でテンポよく最後まで聞くことができた。  
知らない内容でも自然と理解できる点が良かった。

ゲスト回については少し入りづらさもあったが、それでも興味を持って聞き進めることができた。  
二人だけの回も、もっと聞いてみたいと感じた。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上